

バッグのバトンを渡そう・つなごう

# Baton Bag Project 2017 年度取り組みレポート



捨てられる予定だった制服生地を素敵な装飾を施したバッグにアップサイクルし、海外で環境教育の一環として活用してもらおう「バトンバッグプロジェクト」。

2017 年度も多くの生徒さんに参加いただき、バッグのバトンを渡しました。

←バトンバッグフロー図

## 2017 年度の参加について

2017 年 4 月より服育 HP 等を通じて約 100 名募集し、13 の学校が参加。主に家庭クラブ等の活動の中で取り組んでくださいました。出来上がったバッグは 2 回に分けてソロモンへ送りました。



\*バッグには英語で書いたメッセージカードを付けて送りました

## ソロモンでの活用

ソロモンでは NPO 法人子ども環境活動支援協会を通じて、JICA 草の根技術協力事業のソロモン事業の中で提供しました。エコバッグを持ち歩く習慣のないソロモンでエコバッグとして活用してもらうだけでなく、環境教育、国際理解の一環として活用していただきました。

2017 年より新たに現地スタッフとして加わったグレイスとテストニー



環境ポスターコンクール入賞者の賞品としてや、JICA の報告会での環境担当者などの関係者へのプレゼントとして活用されました。

## それぞれの学校での取り組み

東京都立戸山高等学校では荒井きよみ先生（家庭科）の指導のもと、SDGs の取り組みの一環としてバトンバッグに参加してくださいました。SDGs のロゴをアップリケしたバッグには、先進国と途上国が共に力を合わせることで SDGs 実現のためには不可欠というメッセージが込められています。



SDGs とは「SDGs (Sustainable Development Goals) / 持続可能な開発目標」(、17 の目標と 169 のターゲット)とは、「誰一人取り残さない」という理念のもと、先進国も途上国もすべての国が関わって気候変動や格差などの幅広い課題を解決していくための国際目標で、2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部において加盟 193 か国の全会一致で採択されました。SDGs の根幹にある「持続可能な開発」とは、「将来世代のニーズを損なわずに、現代世代のニーズを満たす開発」のことを言い、SDGs にはあらゆる分野における社会の課題と長期的な視点でのニーズが詰まっています。